



日野の特色を生かした

「食育推進計画」食から始まる健康づくりが完成

市民一人ひとりが「食」を通じて、心身ともに健康に生きてゆく指針として、市民、農業関係者ほか関係各団体とともに検討を重ねてきたこの計画では、3つの重点推進事業と平成23年度までに達成させる5つの数値目標を定め、さまざまな施策を展開します。

また、今年度中に、この計画を確実に実行するために市、教育委員会、市民などの責務を盛り込む特色ある条例を作ります。

なお、この計画書は市役所1階市民相談窓口・3階産業振興課、七生支所、豊田駅連絡所、生活・保健センター内健康課、市内各図書館、市ホームページで見ることが出来ます。

問合せ先 産業振興課



▲学校給食には、安全安心でおいしい日野産野菜を利用しています

●計画で定める5つの数値目標（平成23年度までに）

数値目標1	保育園、幼稚園児の保護者の朝食欠食率	18.6%→半減
数値目標2	園児、児童、生徒の朝食欠食率 園児(1.7%)、児童(3.8%)、生徒(9.7%)	→0%
数値目標3	学校給食での日野産野菜利用率	15%→25%
数値目標4	食育推進を実施する店舗の数	21.4%→40%
数値目標5	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を知っている市民の割合	54%→100%

重点推進事業Ⅰ 食育は家庭から。朝ごはんは元気の源

家庭での食育を「食育の原点」と考え、朝食摂取を重点推進事業の一つとして位置づけます。

テレビを見ないで朝ごはん・夕ごはん

①健康のためだけでなく、家族団らんのためにも「テレビを見ないで朝ごはん・夕ごはん」を推進し、基本的な生活習慣を育成します

②保育園、幼稚園を通じて食育を推進します

③保育園、幼稚園へ就園する前に保護者へ情報提供を行い、食育を推進します

重点推進事業Ⅱ 安全安心でおいしい学校給食の推進

④妊産婦の健康と胎児の健全な発育に重要な栄養バランス

生産者と消費者が近い都市農業の特色を生かし、25年前から学校給食に日野産野菜を利用しています。家や学校の周辺で栽培された「顔の見える農産物」を食べることを通じて食を大切にすることを育てます。

学校給食で日野産野菜を積極的に利用

①CO₂排出削減にもつなが

重点推進事業Ⅲ 地域で進めるみんなの食育

生活習慣病を予防し、市民の健康を増進するため、医師会、歯科医会、薬剤師会などと連携を図り、年代ごとにさまざまな取り組みを行います。

メタボリックシンドロームを減らします

①運動と食事をテーマに、保健師、栄養士などと青壮年期、若年期のメタボリックシンドロームの低減に努めます
②生活習慣病予防・改善の観点から行っている「食」に関する各種健康教室をさらに充実させます
③地域に講師を派遣するなど



▲健康課で行っている「男の基礎料理塾」

計画を実行するための条例を今年度中に作り出します

市、教育委員会、市民、子育て関連施設、農業関係者、農協、事業者などが一体となつて日野市食育推進計画を確実に実行するため、それぞれの責務や基本理念、事業評価

七生村、日野町合併50周年記念

夏祭りを開催

今年、七生村と日野町が合併して50周年の節目の年です。また、多摩動物公園も開園して50周年を迎えました。これらを記念して、第二武蔵野台自治会協議会と共催し、京王電鉄(株)、多摩動物公園などの協力により、京王動物園線多摩動物公園駅前広場で夏祭りを開催します。皆さんの来場をお待ちしています。

8月16日(土)・17日(日)午後6時～8時30分 16日は多摩動物公園も午後8時30分まで開園/京王動物園線多摩動物公園駅前広場/太鼓、踊り、出店(綿あめ、フランクフルト、焼きそばなど)、パネル展(CO₂削減、50年前の日野市)企画調整課

夜の動物園「サタデー@Tama Zoo」を開催

8月の土曜日限定で開園時間を延長します。普段は見られない夜の動物園をお楽しみください。

8月2日(土)23日の毎週土曜日、閉園時間を午後8時30分に延長。最終入園時間は午後7時/開園エリア:アジア園の一部、アフリカ園、昆虫園/多摩動物公園(☎591・1611)

「8月の市民相談」は10面に掲載